

「わかばの会」バス旅行 赤穂義士の史跡、牛窓の海、夢菓匠・・・

5月29日(金)、快晴に恵まれて播州赤穂と岡山方面の日帰りバスツアーを42名の皆様のご参加で行いました。

当日、観光バスで千里中央組と蛸池組と合流して、まず、播州赤穂の浅野家の居城の赤穂城跡の石垣と復元された本丸門や本丸庭園と二之丸庭園を見学しました。続いて赤穂四十七士を祀る赤穂大石神社を見学しました。大石神社の参道にある四十七士の石像は赤穂義士が立ち上がる忠義の姿が今も感じられました。続いて、岡山県にある旧閑谷学校に行き、備前藩主の池田光政が庶民教育を目的に開いた学校の講堂や資料館など敷地内の施設を見学しました。当日、講堂で中学生が講堂の床に正座して論語の一章をそらんじあい講釈を受けている「講座学習」の風景に接することが出来て、道徳教育の重要性を感じました。

その後、日本のエーゲ海と言われる牛窓のレストランで郷土料理をいただき会員同士の交流を深めました。昼食後、丘の上のミティリ広場の高台に移動して、瀬戸内の海、小豆島、屋島などの素晴らしい景色を見る事が出来ました。その後、備前焼のルーツの須恵器の里「寒風陶芸館」に行き、資料や陶芸家作品の見学をしました。参加者の要望で、瀬戸内市の岡山夢菓匠「敷島堂」に行き、岡山の自然豊かな季の恵みで作られた夢菓子との新鮮な出会いをしました。そして、瀬戸内海で取れた物産を販売している道の駅に寄って買い物をし、帰路につきました。帰路の車中は、昨年同様、ジャンケンゲームを行い、参加者全員真剣そのものとなり、大変盛り上がりました。

今年は少し長距離のバスツアーとなりましたが、本当に楽しい一日を過ごす事が出来て良かったと思います。参加を頂いた皆様、企画、準備、当日のお世話を頂いた役員の皆様に心からお礼申し上げます。
(清水正弘)



「茨木・摂津拠点20周年記念総会」に参加して

5月30日(土)、茨木市役所南館にて開催された式典に、近隣5拠点の代表と共に参列しました。来賓として茨木・摂津両市長はじめ社協等の関係者26名、ナルク関係者9名の合計35名が来られていました。

20年前の設立時の会員数は15名でしたが、現在は430名になったとの事。初代代表の山田稔さんは設立時より十数年間にわたり市役所、社協、学校、病院等に太いパイプを持ち、基礎作りをされたのが花開いたのでしょう。

感謝状贈呈では預託時間が10,000時間を超えている方もおられました。アトラクションでは芸達者な会員が次々にステージに立たれ、感動の一日でした。
(大井文夫)